

テーマ:安全で消えないマーカー

■ 背景

- 様々な点滴ボトルやシリンジなど治療に使用する医療器具へ直接患者さんの名前が記されていると区別しやすく取換えなどのミスが減らせ安全である。
- しかしながら、プラスチック製品の表面に油性マジックなどで直接書き込むとキシレンなどの溶剤が内部に溶け込むとの報告がある。ポリプロピレン製と比較して、ポリエチレン製のボトルでは溶剤の混入は検出されなかったようだが、実臨床の間では各ボトルが何製であるか確認するのは時間的にも困難である。従って、安全性の観点から、そのような懸念が確実にないと言える製品が必要である。
- また、看護師の手指に色移りしないことも望まれる。



■ 現在の対応法

- シールなどに名前を書いたのち、ボトルやシリンジ表面に張り付ける。患者さん毎に名前を書くため、手間と時間を要する。

機能アイデア例

- チューブやシリンジの材質の変更
- マーカーインクの材質の変更
- 後から付けるシール等の考案
- 安価であること
- 簡便であること
- 対照の素材を選ばないこと



■ 使用頻度や市場性に関する情報

- 生理食塩水液、電解質液、高カロリー輸液など様々な点滴バッグ製剤が1年間で延べ5億人へ投与されている。また、国産・輸入合せて注射剤は年間8.6億本が生産・輸入されている(薬事工業生産動態統計調査)。従って、安全なマーカーの使用機会はとても大きいと考えられる。

■ 看護部ホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>